

総合情報学部

情報科学科

- ①**計算機屋かく戦えり** ②遠藤諭 著 ③アスキー
 ④今ではコンピュータといえば、アメリカの会社が作ったような印象を受けるのが当たり前になっている。しかしその黎明期から日本独自のコンピュータを開発した人達が居り、それらの技術水準はアメリカの物にひけをとっていなかった。それら多くの開発者達の心意気が伝わって来る本です。(推薦者:澤見英男先生)

- ①**コンピュータが計算機と呼ばれた時代** ②財団法人C&C振興財団 編
 ③アスキー
 ④日本独自でコンピュータの開発されていたことはあまり知られていない。この本は我が国で独自に開発されたコンピュータの写真集でもある。真空管式計算機、水銀遅延記憶装置、リレー式計算機、パラメロン計算機などの貴重な写真が豊富に掲載されており、日本独自の技術力を写真で明らかにしている。(推薦者:澤見英男先生)

コンピュータコミュニケーション学科

- ①**学びの一步** ②和田寿博・河音琢郎・上瀧真生・麻生潤 著 ③新日本出版社
 ④大学で何をしたいか分からない、大学が面白くない—そんな思いを持つ学生に、若い大学教師が送る《学び》のガイド。社会と人間をめぐって生き生き学ぶ学生の姿や、講義ではあまり聞けない学びの数々から、新しいキャンパスライフが見えてくる。文系の学生向きだが、理系の学生にも通じるものがあると思う。(推薦者:小野忠良先生)

- ①**科学者の現代史** ②高橋智子・日野川静枝 著 ③青木書店
 ④二つの世界大戦とかかわってきた自然科学者たちは何を考え、どのような行動をとってきたのか。本書は、こうした誰でもが抱く素朴な疑問から出発し、現代社会の仕組の中で社会的存在としての自然科学者が辿った道を描いている。現代社会における科学のあり方を考える際に参考となる、一読に値する著作と思う。(推薦者:小野忠良先生)

生物地球システム学科

- ①**環境考古学への招待 —発掘からわかる食・トイレ・戦争—** ②松井章 著
 ③岩波書店(岩波新書)
 ④近年の考古学界では特筆されるベストセラーとなった本である。環境考古学は、失われていく過去の暮らしぶりや、覆い隠したい秘密を復元する力を持っている。昔は当然のように存在した地場産品を活かした食卓のメニュー、家畜達の手ざわりや、汲取便所の臭い、殺伐とした断末魔の様子までも蘇らせる。今後の考古科学の方向性をわかりやすく示した良著である。(推薦者:富岡直人先生)

- ①**こころのほつれ、なおし屋さん** ②村中李衣 著 ③クレヨンハウス
 ④新入生の皆さんは大きな期待を持って大学に入ってきたことと思います。でも、今までの受験勉強や新しい環境のために、ちょっと疲れたかなと思うこともあるかもしれません。そんな時は、この一冊で一服するのもいいかもしれません。皆さんと同じ大学生のこころの話です。(推薦者:横山由紀子先生)

社会情報学科

- ①**科学論入門** ②佐々木力 著 ③岩波書店
 ④現代の科学技術の高度化・専門化が進む中その意味が改めて問い直されている。今求められているのは西欧近代科学が成立した17世紀以来、また日本で近代化が始まった明治維新以来の抜本的転換である。気鋭の科学史家が、21世紀のための新しい総合的科学技術像を提起した本である。(推薦者:中島聰先生)

- ①**シャーロックホームズの記号論** ②T.A.シービオク 著(富山太佳夫 訳)
 ③岩波書店
 ④コナン=ドイル原作のあのホームズの名探偵術とアメリカ記号論の祖パースの論証法に共通するアブダクション(仮説形成推理)の重要性を説きながら、記号の本質を解き明かす本である。(推薦者:中島聰先生)